

廃棄物減量等推進審議会会議 会議結果

会議名	第1回木津川市廃棄物減量等推進審議会		
日時	令和元年5月27日(月)午前9時30分から	場所	木津川市役所 第2北別館 2階
出席者	委員	■橋本委員(会長)、■浅利委員(副会長)、■須内委員、■関河委員、 ■…出席 ■中川委員、■石田委員、■木下委員、■中尾委員、■中島委員、 □…欠席 ■山本委員、■新井委員、■可知委員、■岩木委員、■中岡委員、□内村委員	
	その他出席者	傍聴人：2人	
	庶務	市民部 金森部長、山本次長 まち美化推進課 高味課長、中島係長、櫻井主事	
議題	1 委嘱状交付 2 開会 3 市長あいさつ 4 諮問 5 議事 (1) 審議事項 ①本年度の活動スケジュールについて ②部会の設置について (2) 報告事項 ①家庭系可燃ごみ等の状況について ②有料指定袋制の平成30・令和元年度収支(見込)について ③財源活用事業の令和元年度予算措置状況について 6 その他 第1回推進部会日程：7月16日(火)午前 7 閉会		

会議経過	高味課長 (進行)	<p>はじめに、所属団体の役員の改選によりまして3名の委員が交代されますので、委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>〈委嘱状の交付〉</p> <p>以上をもちまして、木津川市廃棄物減量等推進審議会委員の委嘱状交付式を終わります。</p> <p>引き続き、「令和元年度第1回木津川市廃棄物減量等推進審議会」を開催させていただきます。</p> <p>事務局説明省略（注意事項）</p> <p>本日の審議会の定足数でございますが、15名中、過半数を超える14名の皆様にご出席をいただき、木津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例施行規則第8条第2項の規定により、会議が有効に成立しておりますことを、ご報告申し上げます。</p> <p>次に、交代されました委員もおられますので、あらためて委員の皆様と事務局職員をご紹介します。</p> <p>〈委員及び事務局職員紹介〉</p> <p>なお、木津川市地域長会からの委員につきましては、現在、前委員の任期満了に伴い改選の手続き中ですので、ご推薦をいただき次第、新たに委嘱をさせていただきます。</p> <p>それでは、委員の皆様には河井市長がご挨拶を申し上げます。</p>
	市 長	〈市長あいさつ〉
	高味課長 (進行)	次に木津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第9条の規定によりまして、河井市長から審議会会長に対しまして諮問の方を行いたいと思います。
	市 長	〈諮 問〉
	会 長	しっかり議論させていただきます。
	高味課長 (進行)	ありがとうございました。市長は、他の公務もございまして、これをもちまして退席させていただきます。
	市 長	〈市長退席〉
	高味課長 (進行)	事務局説明省略（配布資料の確認）
	会 長	<p>それでは私の方で議事を進行させていただきます。改めて皆さん、おはようございます。令和の最初の会議ということで気持ちも新たに審議できればと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>先程諮問がありまして、昨年度までにこの審議会でご議論いたしました家庭系可燃ごみ有料指定袋制度の収益を活用したごみ減量施策等について具体</p>

		<p>的に評価を行ったり、あるいはその中の活動の推進を行ったりすることについて審議を行ってまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります前に、審議会運営内規第5条第2項の規定によりまして、会議記録署名委員の指名をさせていただきます。昨年度から続きまして名簿順にお願いしたいと考えておりまして、今回は中尾委員にお願いいたします。</p> <p>早速ですが議事に移らせていただきます。審議事項「本年度の活動スケジュールについて」事務局より説明をお願いします。</p>
中島係長		事務局説明省略（本年度の活動スケジュールについて）
会 長		ありがとうございます。今年度審議会を2回、それから部会を2つ設けてそれぞれ1回開催し、各部会・審議会で先程諮問があった事項についてこのような形で議論したいということですが、いかがでしょうか。
須内委員		質問です。資料-2の内規（案）で、推進部会と評価部会の審議する財源が、推進部会は市民提案型ごみ減量活動等補助金で、評価部会は循環型社会推進基金と2つあるんですけど、これは財源が別ですよ。
中島係長		<p>今ご質問いただいておりますのは、資料-2の3ページ、各部会の運営内規（案）を資料としてお配りしておりまして、その中の第2条第2項と第3項に関連するご質問ということでしょうか。</p> <p>まず第2項で、推進部会は、市民提案型ごみ減量活動等補助金の申請案件に関する事項を審議するということになっております。これは、市民の皆様にご提案いただいた補助金の審査ということで先程ご説明したとおりです。</p> <p>次の第3項に、評価部会は、審議会から付託された木津川市循環型社会推進基金を活用した事業の点検、評価及び改善に関する事項を審議する、ということになっております。同じような名前で基金と補助金という言葉があるので、少し分かりにくかったかと思えます。第3項の木津川市循環型社会推進基金とは、ごみ袋の有料化に伴って皆様からお納めいただいた手数料、その手数料収入を市の他の一般的な財源と混ざらないように区分をして管理するための基金になっております。ごみ袋の手数料収入を特別に管理するための通帳が1つあるとお考えいただければ結構かと思えます。基本的に、昨年答申をいただきました今後のごみ減量活動等に関する事業につきましては、この基金に積み上げました手数料収入を財源として活用していくこととなりますので、この第3項に規定をしております評価部会につきましては、その基金を活用した事業全般の点検・評価・改善をお願いするということです。</p> <p>この基金を活用した事業のうち、特に市民提案型ごみ減量活動等補助金について、その補助金事業全体の点検や評価ということではなくて、その補助金の採択を受けるために申請された申請案件についての評価を推進部会の方でお願いをします、という棲み分けになっております。</p> <p>この補助金の制度自体の点検と評価に関しましては、やはり評価部会の方でお願いをする。実際にどのような案件が採択され補助金を交付した結果どういった効果があったのか、補助金の使い勝手が悪いからこう変えるべきじゃないか、そういった点検や評価に関しては、この市民提案型ごみ減量活動等補助金についても評価部会の方でお願いをする、ということでこの運営内規については案を作成しております。こちらにつきましては次の審議事項である「部会の設置について」においてもご説明させていただきたいと思えます。</p>
須内委員		今の循環型社会推進というのはインターネットで実は出ているんですけども、その中でかなり広範囲で、有料化の導入とは、マイバッグ、レジ袋、集団

		<p>回収推進、家庭の生ごみの堆肥化などずっと案件を並べているんですね。こういったものの中で、そのごみ減量活動の具体的に出てきたものをその補助金でどうするかという話になろうと思います。</p>
中島係長		<p>先に補助金の概略の説明をさせていただこうかと思います。</p> <p>事務局説明省略（市民提案型ごみ減量活動等補助金について）</p> <p>市民提案型ごみ減量活動等補助金の財源として活用するのが循環型社会推進基金、この基金に積み上がっている手数料収益ということになります。補助金と基金との関係性というのはご理解いただけたかと思うのですがいかがでしょうか。</p>
会長		<p>また後程、予算措置の状況についての資料の中で出てくるかと思いますが、手数料を活用した事業全体を評価するのが評価部会で、その中の補助金の提案案件について審査するのが推進部会という整理になるかと思いますが。</p> <p>引き続きまして、こちらが大きな議題になるかと思いますが、「部会の設置について」事務局からの説明をお願いします。</p>
中島係長		<p>事務局説明省略（部会の設置について）</p>
会長		<p>それでは事務局より提案がありました部会員の指名、それから部会長・副部会長の指名、さらに部会運営内規についてご意見ご質問等ございましたら挙手をお願いします。</p> <p>一点お願いします。特に推進部会については提案案件の審査をすることになりますが、その部分を公開するかどうかという説明がなかったかと思いますが。そこについては第1回推進部会が開催される前のどこかの段階で何か議論しておく必要がありますか。</p>
中島係長		<p>もし傍聴を求める場合は傍聴の公表をホームページ等で案内させていただく必要がありますので、決定をしておいていただく必要があるかとは思いますが、基本的にはたとえ補助金の審査でありましても、どういった案件が申請されているのか、その申請者の思いがどういう思いなのかというのはオープンにしていく。そこをオープンにしないと結果的に、補助金の審査過程というのがオープンになりませんし、結果だけ見せてもどうかなという部分もありますので、事務局としてはその部分も公開にして、オープンにして進めてはどうかという認識で本日の提案をさせていただいております。</p> <p>審査の方法についてはまだ明確に資料でご提案できる状況ではないんですが、審査の方法としましては部会員のお一人毎に、点数をつけていただくシートのようなものをお渡しして、それに提案内容を当てはめて点数をつけていただく。その点数をもって、市として採択することが適切かどうかという一つの参考にさせていただきたいと考えています。その個別の委員の点数については公表する予定にはしておりませんが、その点数をつけるにあたって必要となる情報を引き出すための提案者との質疑応答については公開をしても特に差支えないかと思いますが、事務局としては第1回の推進部会についても公開を前提としてお諮りをしているということでご認識いただきたいと思います。</p>
会長		<p>はい、そういう事務局の提案になっておりますけどもいかがでしょうか。</p>
委員		<p>〈異議なしの声〉</p>

<p>会 長</p>	<p>もし質問があればまた後でしていただければと思います。</p> <p>まず部会員の指名を行いたいと思います。事務局からご提案がありました、名簿の上位から資料-2の2ページ目に記載している人数で部会員を振っていくという形にするということですのでよろしいでしょうか。よろしければ、既に事務局からお名前を挙げていただきましたが、改めて指名をさせていただきたいと思います。</p> <p>推進部会については、浅利副会長、須内委員、関河委員、石田委員、木下委員、中尾委員、新井委員、可知委員にお願いできればと思っております。また評価部会については私、中川委員、中島委員、山本委員、岩木委員、中岡委員、内村委員、それから今選考中ですが木津川市地域長会の委員の方をお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは引き続いて部会長・副部会長の指名ということですが、基本的には会長・副会長除いて部会員の互選により選出したいと考えています。</p> <p>〈部会長・副部会長の選出〉</p>
<p>中島係長</p>	<p>今それぞれに分かれてお話し合いいただいた結果を報告させていただきます。まず推進部会の方が、お話し合いで、部会長に中尾委員、副部会長に須内委員ということでご決定いただきました。評価部会の方はくじ引きをさせていただきました結果、部会長に中川委員、副部会長に中岡委員をお願いをすることで決定しております。では会長、指名の方よろしくお願いいいたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい、それでは繰り返しになりますけれども指名をさせていただきたいと思えます。推進部会は、部会長に中尾委員、よろしくお願いいいたします。副部会長に須内委員、よろしくお願いいいたします。評価部会は、部会長に中川委員、よろしくお願いいいたします。副部会長に中岡委員、よろしくお願いいいたします。</p> <p>続きまして、部会運営のルールの内規の案を先程ご説明いただきましたが、こちらについてはいかがでしょうか。基本的には審議会の運営内規に基づいて運営をするという案になっておりますが、部会の運営内規につきましてはそれぞれの部会が所管する内容と決定した内容の取扱いについて記載をされています。先程の推進部会の方で審査をする過程も公開の下で行うということですので、ご了解いただけますでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>〈異議なしの声〉</p>
<p>会 長</p>	<p>もし内規につきましてご反対の方いらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。</p> <p>では全員一致ということで内規を決定させていただければと思います。ありがとうございます。</p> <p>それでは部会の設置が確認できましたので、先程市長から諮問がありました事項の一部につきまして各部会へ付託をさせていただきたいと思えます。推進部会につきましては諮問の一つ目、財源活用事業の推進に関するもののうち①市民提案型ごみ減量活動等補助金申請案件の審査について付託を致します。また評価部会につきましては諮問事項の二つ目、継続的な点検・評価・改善に関するもののうち①財源活用事業（先行実施分）の点検及び評価について付託致します。各部会において審議をよろしくお願いいいたします。基本的には先程ありました通り、各部会の決定が審議会としての決定になりますのでよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは次第に従いまして議事の二つ目、報告事項に移りたいと思えます。報告事項①「家庭系可燃ごみ等の状況について」事務局から説明をお願いいた</p>

	中島係長	<p>します。</p> <p>事務局説明省略（家庭系可燃ごみ等の状況について）</p>
	会長	<p>ありがとうございます。それでは今ご説明いただきましたごみの排出量等について、質問等ございませんか。</p>
	関河委員	<p>ごみの現状についてまず説明をありがとうございました。目標値をとりあえずは達成したということで大変喜ばしいかと思えます。</p> <p>私がお伺いしたいのは、ごみの排出量そのもの、全体の量的には達成したんでしょうかということが一つ。それから、指定ごみ袋が、お話を伺うと当初の予定の倍ぐらいの量が使われているということでその原因は何なのか。というのは、見かけの比重が8.1kgではなくて4kg台になっているのかなど。そうするとその原因は何なのか、もともとの前提が間違っていたのか、それともごみ袋の形状があるのか、そういったご見解を聞かせていただければと思います。</p>
	中島係長	<p>2点、関河委員からご質問いただいたかと思えます。まず、原単位ではなくて全体の排出量について認識はどうかというところと、指定ごみ袋の販売枚数との関係はどうかというところがあるかと思えます。</p> <p>先程ご説明させていただきました資料-3②をご覧ください。こちらの可燃ごみの表の中で一番下の合計欄に平成30年度の年間の収集量を記載しております。11,361,790kgと記載をしているのですが、昨年審議会から頂戴しました答申では、目標として11,428,000kgということで答申をいただいておりますので、その数値と比較をするとほぼ同じくらい、マイナス0.6%ということになりますので、原単位と同様に概ね答申でお示しいただいた目標程度に落ち着いているということで考えています。</p> <p>ご質問の2点目、収集量が目標程度に落ち着いているにもかかわらずなぜ収入がこれほど多くなったのかというのは、我々行政としても悩んでいるところです。指定ごみ袋の販売枚数につきましては次の報告事項の収支のところでも詳しくご報告をさせていただくのですが、昨年の審議の中で予定をしていた数の約2倍程度出荷されているという状況にあります。ただ、昨年の審議会の議論の中で収入を推計する際には、今までのごみの年間排出量を、大体45L1袋あたりこれぐらいのごみ、具体的には8.1kgぐらいのごみが入っているという過去の調査に基づいた1袋あたりのごみ量で割りまして、売れるであろう指定ごみ袋の数を割り出しております。それを基に収支を計算しているのですが、その計算方法を見ていただいたら自明なように、ご家庭や店舗でのストックというのを全く考慮していない推計になっております。一つ考えられるのは、指定ごみ袋を1袋10枚全部使い切ってから次のものを買うということにご不安をお持ちの方もおられると思うので、買えるときに数パック買っておこうということで、ある程度ご家庭に指定ごみ袋のストックがあるんじゃないか、複数のサイズをご購入されて結局は同じようなサイズばかり使ってしまう一部がデッドストックになってしまっている、そういったことがあるのではないかと考えられます。その他の要因としては、まだ事務局として明確に申し上げられるものというのはございません。この辺りは、10月以降に予定しております組成調査の中で、しっかりと1袋あたりどの程度の比重になっているのかというのを調査させていただいて、その比重が変わった原因というのがごみ袋のサイズの問題なのか、それともごみの組成自体が変わってきているのかということにつきましても、しっかりと調査の中で視点を持って見ていきたいと思えます。その調査については、できるだけ審議会委員の皆様にもお立会いいただけるような、ごみの現状を皆様にもご覧いただけるような形でご用意させていただきたいと思えますので、またご案内させていただきます。</p>

<p>関河委員</p>	<p>ご見解をお聞かせいただいております。10月の組成調査の後に、指定ごみ袋の仕様の変更も含めましてぜひとも新たな取り組みを、お忙しい中とは思いますが、仕様の変更についてはよくよく点検するような答申も出ていますのでしっかりとした取り組みをお願いしたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>紹介がありましたが、組成調査の現場を委員が見られるような形で行う予定になっているのですか。</p>
<p>中島係長</p>	<p>皆様もそれぞれのご家庭のごみの状況というのはよくお分かりいただいていると思うのですが、市民が一般的にどの程度の資源化に取り組んでいるのかを知る機会はないと思いますし、他所の家庭のごみというのはご覧になる機会があってもおかしなことですし、ないと思います。そういった組成調査の現場を見ていただくことで、木津川市の平均的なごみの状況、様々なご家庭、様々な減量の取り組み状況があるんだということも実際に体感していただいた上で、どういった施策が必要かということをご検討いただくということも必要などこかなと思いますので、せっかくの調査ですのでできるだけご案内できるように会場の調整等させていただきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>これは画期的ですね。こういった機会はなかなかないと思いますので、もし参加いただける方がいらっしゃいましたらぜひ参加いただきたいと思います。</p>
<p>須内委員</p>	<p>1ヶ月くらい前ですかね、環境の森センター・きづがわのごみピットを見学させていただいたんですけども、4分の3くらいが白い袋なんです。黄色い袋は4分の1くらいなんです。焼却炉を案内していただいた方にこの白い袋っていうのは何ですかって訊くと、ほとんどはプラスチックであとは事業系のものが大分入ってますということなんです。それで、黄色い袋の可燃ごみの中身は最近変わってきております。私が住む南加茂台には2,200所帯以上ありますから全部見たわけではないんですけど、大体半分くらいはごみ収集のときに見えるんです。今の時期になるとほとんどが枯葉とか枝、これが袋2つ。それからそれが無い日、プラスチックの日があるんですけども、この黄色い袋に入れるものもあるんですけども、黄色い袋は値段が高いですからこれ全部白い袋に入れちゃうんですね。で、プラスチックはほとんど白い袋。それから黄色い袋に入れる生ごみはどうなっているかって言ったら、これは嵩ではなくて重さなんです。弁当の残り物とか卵とか色々入ってるんですけど、大体カラスがつつくんで中身が分かるんですよ。で、何ヶ所か黄色い袋がぼろぼろになってるんですけども、中を見ますと大体食べ残しがほとんどです。従って、可燃ごみの重量が減ってきているというのは今まで混ざっていたものが他のところへ移ってるんじゃないかと思います。それと後、プラスチックのごみなんですけども、これは去年の一番最初に話されたときに分別する必要はないんじゃないかと言ったんです。最終的には燃料として使われるということで焼却場に行くんですけども、これも可燃ごみの中に入れていいプラスチックとそうじゃないプラスチックがあるんですけども、ほとんどの人が可燃ごみに入れてもいいものを全部白い袋に入れてしまうということで、ごみの捨て方が大分変わってきてるんじゃないかなと思うんですね。焼却場に行くとよく分かるんですけども、焼却場は精華町も使いますから精華町は黄色い袋は使ってないんですけども、焼却場でごみの重量をどうやって量るかという、清掃車が来た時に重量をまず量って、それから今度はごみを降ろした空の清掃車の重量を量ります。じゃあ中身がどうなってるかって言っ</p>

	山本次長	<p>たら、全然見てないですね。掻き回した時に袋がぼろぼろになりますから、それこそもう投入庫でバサッバサッと清掃車からごみを降ろした時点で初めて中身が分かるんですよ。だから、やはりごみの捨て方も変わってきてるし、それをよく調べると傾向が分かるんじゃないかと思います。</p> <p>少し補足説明させていただきます。先程組成調査という話が出ておりましたが、どのように行うのかということの説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>木津川市のごみの組成調査につきましてはいわゆる人海戦術でさせていただきます。浅利副会長にも以前、木津川市の組成調査をするときにアドバイスをいただきました。業者さんと職員も何人か入った20名以上が手作業で、ピックアップしてきたごみ袋の中のものを分別します。今言われたような食べ残しから、ティッシュから、それぞれのもの毎に分別してその重量を量るという組成調査になります。</p> <p>クリーンセンターのような焼却施設に運ばれてしまいますと、今言われたようにどういったごみがどれぐらい含まれているのかということ把握することができません。ですので、木津川市で各家庭からサンプルをピックアップさせていただいて、そのものを手作業で分別するという組成調査をしていただきます。それを定期的にしていかないと、今、委員が仰っていただいたように木津川市の可燃ごみの推移というのは分からない、どういったものが食べ残しで無駄になっているのかというのは分からないだろう、ということでもさせていただきます。</p> <p>先程、クリーンセンターでは4分の3くらいは白い袋だったという話がありましたけれども、精華町よりも木津川市の方がごみが多く、実際には黄色い袋の方が多くあります。ただ、どうしてもごみ袋に入ったままで焼却するわけではありませので、全体として見ると黄色い袋については少なく見えますけれども、それは破袋をしていく関係上どうしても黄色い袋は見られない形になってしまいます。ごみ量としては木津川市のごみ量が大体5割、クリーンセンターに入っています。残り大体3割が精華町のごみで、後は事業系のごみということになり、事業系のごみそのものは全体から見ると少ない状況です。</p> <p>ただ、仰っていただいたようにクリーンセンターに来てそういった処理を見ていただくと、やはりごみの分別はちゃんとやらないといけないんだなという感想のもとお帰りになっている方が多くございます。</p>
	中島係長	<p>ごみの収集についてだけ補足させていただきます。今回、可燃ごみとして黄色い袋で出すべき廃プラスチック類が白い袋で出ているんじゃないかというご懸念をいただいていたかと思います。そういったことにつきましては、例えば無色透明もしくは白色半透明の袋で出せるビニール・プラスチック容器包装や、燃やさないごみの分別の中に、本来可燃ごみとして黄色い袋で出すべき廃プラスチック類が混ざっていると、収集員が収集をする段階で、これは分別不十分ですということで啓発シールを貼った上でその無色透明や白色半透明のごみ袋は置いていきます。ですので、本来可燃ごみとして出すべきものがたくさん無色透明や白色半透明の袋に混ざっているから可燃ごみが減っているんじゃないかということについては、収集の段階でしっかり歯止めをかけている、その点だけのご理解いただきたいと思います。</p>
	会 長	<p>その他いかがでしょうか。有料化からまだ半年ですので、また1年2年と見ていかないと分からないところもあるかと思います。引き続き観察していければと思います。</p> <p>それでは、報告事項②「有料指定袋制の平成30年・令和元年度収支（見込）について」ということでご報告をお願いします。</p>

中島係長		事務局説明省略 (有料指定袋製の平成30・令和元年度の収支(見込)について)
会長		<p>それではこの件につきましていかがでしょうか。予算措置につきましてはまた次の事項で資料-5を用いてご説明いただくかと思えます。</p> <p>収支として平成30年度で2,400万円、令和元年度で2,800万円という金額が毎年貯まっていくような状況になっていますので、そういったものの活用方法を評価部会ないしは審議会の方でもう一回審議をすることになります。</p> <p>続きまして、報告事項③「財源活用事業の令和元年度予算措置状況について」ということで資料-5のご説明をよろしくお願いします。</p>
中島係長		事務局説明省略(財源活用事業の令和元年度予算措置状況について)
会長		それでは、本件につきましてご質問等ありますでしょうか。
副会長		<p>1点、細かな点なんですけども、2-②で古紙の集団回収事業の充実というところで雑がみを分かりやすくしていただけるような袋を多分作って配られるということかと思うんですが、先程の参考資料-2の中で、古紙回収量の推移というのをお示しいただいております、この中で雑がみというのを抜き出して把握できることになるのか、ということをお訊きしたかったんです。今は、雑がみは雑誌のところで計量されているんですかね。せっかくこうやって抜かれるのであれば、そのあたりがどういうふうにも市民の方にも分かりやすくなるのか。雑誌も含めて雑がみという形で集めるという理解で、統計としてはこの雑誌というところを見ていけばいいということになるのか、ご説明していただきたいと思えます。</p>
中島係長		<p>その点につきましては、やはり今可燃ごみの中に混入しているもので特に多いものが雑がみですので、昨年の審議会でも雑がみにしっかり着目をして古紙の再資源化を進める必要があるとご意見を頂戴しておりました。指標としても、雑がみの分別回収量の増加というものを指標として掲げさせていただいているのですが、今後古紙を回収していただいている回収事業者さんの方とお話し合いをさせていただきたいと思うのですが、やはりなかなか雑がみだけを全件計量してご報告いただくというのは難しい状況があるのかなと思えます。少なくとも、いくつかの取り組み団体において我々も協力をしながら雑がみの計量を行って一つの推計の指標とするというのが1点と、雑誌も含めた雑がみ雑誌類全般を注目して推移を見守っていき、組成調査においての出口側がどのようになっているのかということも追いかけていきたいなということで、やはりこの全量について直ちに雑がみだけの数値を抜き出すというのは、少し難しい状況があるということをご報告させていただきます。</p>
会長		ありがとうございます。その他いかがでしょうか。それでは、新井委員の方から補足がありましたらお願いします。
新井委員		<p>実際回収させていただく中で、雑誌か雑がみか正直我々も分からないんです。雑誌の中にティッシュの箱を入れていただいたりとか、その他新聞古紙の中にも若干そういった雑がみが入っていたりとかありますので、そういう意味で木津川市さんが雑がみ袋を作られて我々が回収する段階でも雑がみと分かるようにしていただいていると思うんですが、現段階でスケールする際に雑誌と雑がみを分けることは非常に困難だと思っております。</p> <p>ただ、最近の雑誌古紙自体が、こちらの参考資料-2の数字にも出ているんですが、特に新聞も含めまして古紙の発生状況が減っているというのはやっぱり</p>

		<p>り情報機器がもうスマホとかそういったものにとって代わられてきているという現状があります。しかし、段ボール古紙が参考資料-2を見ても増えているのは、これもまた通販であるとかそういったものが逆に影響しているということで、情報機器がハイテクになればなるほど不思議と段ボールが増えるという面白い現象が起こっていると僕は思っております。</p> <p>現状そういった意味で、雑がみについて分別するのは、排出時にはっきり分かるような状態で置いていただかないと難しいと思います。</p>
会 長		<p>ありがとうございます。今回のこの袋がちょっとした分けるきっかけになるかもしれないので、見守っていただければと思います。その他いかがでしょうか。</p>
石田委員		<p>木津川市廃棄物減量等推進員の会・くるっとなんです、出前講座で雑がみのことは勉強してやっております。だから皆分かっていたらと思うんですが、雑がみというのがどんなものかというのをまだ分からない方がいらっしゃるみたいです。</p> <p>それと油なんです、去年も意見が出ていたと思うんですが、今年の3月ぐらいに大体目処をつけて油の回収というのをお聞きしてたんですが、どのぐらいの時期になるのでしょうか。</p>
中島係長		<p>まず雑がみについてですね、まだ市民の理解が十分なところまでは来ていないのかなというご指摘だと思います。この点は我々も出前講座等を通じて十分市民の皆様にもPRさせてもらいますし、雑がみ袋の作成であるとか、2ヶ月に1回の折り込みチラシでも時期を見て特集をさせていただきながら、定期的に市民の皆様理解を訴えていきたいと思っています。</p> <p>また、廃食油の回収につきましてですが、今現在買い取りをしていただく事業者の選定をしている段階となります。今後、買い取りをしていただける出口がしっかりと決まれば、まずは加茂支所・山城支所・木津川市役所の3点を拠点として拠点回収方式で実施をさせていただきたいと考えております。時期としては秋ぐらいにはご案内できるように進めたいと思っておりますが、集めるものが油ですので、やはり集めた油が周辺に漏れ出るといようなご懸念も周辺住民の方はおありかなと思いますので、それをどのように地域まで拠点を広げていくのか、市役所の中でもどこに置くのが防犯上いいのかということについて慎重に検討させてもらいながら、秋ぐらいを目標に実施をしていきたいと考えております。</p>
会 長		<p>ありがとうございます。それでは本日予定しております議題は以上です。</p> <p>その他といたしまして一つご提案なのですが、新しいクリーンセンターと不燃物の中間処理施設について、審議会の中で希望される方を対象に見学会の開催をできればなと思っております。先程須内委員から既に見学されたということでご報告いただきましたけれども、その他の委員の方でもし希望者の方がいらっしゃいましたら見学できないかと思っておりますので、改めて事務局の方から日程調整等ご連絡差し上げたいと思っております。</p> <p>先程の組成調査の計画も含めて、実際のごみの現場の状況をしっかり目で見ていただくというのはこの審議会での審議にも役立つと思いますので、ぜひ積極的にご参加いただければと思っています。</p> <p>その他、事務局からありますでしょうか。</p>
中島係長		<p>はい。事務局の方からは、本日机上に配布をしておりました財源活用事業のうち、現在募集中のものをまずご報告をさせていただきたいと思っております。</p> <p>市民提案型補助金につきましては先程ご説明させていただきましたので割愛させていただきます。もしお知り合いの方に、その市民提案型補助金を活用し</p>

	<p>たいという方がおられましたら、すぐにまち美化推進課にご相談いただければと思います。</p> <p>それとあと二つ。防鳥用ネットの無償貸与事業とごみの収集拠点の整備補助金の二つのリーフレットを今日はお配りさせていただいております。ごみの拠点収集の地域が対象になりますが、3軒以上で利用されるごみの収集拠点でカラス除けのネットを使いたいとか、もしくはもう絶対にカラスにやられないように金属製のボックスを置きたいとか、そういうことがありましたらこの二つの制度で支援をさせていただいておりますので、まち美化推進課にご相談いただければと思います。事務局からの資料の説明は以上です。</p> <p>浅利副会長からお配りいただいたものがありましたので、ご案内いただけたらと思います。</p>
副会長	<p>来月、6月27日に「資源・エネルギーと持続可能性」ということでシンポジウムを京都大学で開催をいたします。ちょうどG20の前日になるんですけども、それを受けて若者としても先程冒頭にありましたプラスチック問題を考えていこうというようなどころも含めて議論の場にしていく予定です。市民の方も気軽にたくさんの方と交流していただける企画も用意しておりますので、ご関心持っていただきましたら、もしもご都合つけば足をお運びいただければと思います。</p>
高味課長 (進行)	<p>ありがとうございました。次の審議会の日程についてでございますけれども、議事の方でご確認いただきましたスケジュールの通りでございます。第1回推進部会は、先程決めていただいた8名の推進部会員の方につきましては、7月16日(火)午前の開催とさせていただきます。補助金の申請件数あるいは詳細な時間・会場を調整させていただいた後、改めて文書の方でご案内をさせていただきますと考えております。また、第1回評価部会、第2回審議会につきましては、改めて日程調整をさせていただきます。</p> <p>先程会長からございましたクリーンセンター見学会並びに10月あたりに実施予定のごみの組成調査につきましても、改めまして事務局の方からご案内をさせていただきますのでよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは最後に、事務局を代表いたしまして金森市民部長からご挨拶申し上げます。</p>
金森部長	<p>〈部長挨拶〉</p>
中尾委員	<p>タイミングがずれてしまったんですけど手短かに。</p> <p>見学会と組成調査の時にですね、終わったら参加した有志だけで懇親会ができるような呼びかけっていうのを調整していただけないかなと思って、事務局さんの方でご足労願うんですけども。せっかくこれだけの方々が集まって熱い思いをね、子どもたちの未来を見て色々発案したいということでそれぞれの方のご活躍ぶりとかね、そういうのももうちょっと知りたいと思いますので。今度はもっと素晴らしいいろんな提案が出てきて、来年度令和2年度にはもっと進展していると思いますので、手間をかけますけどもあくまでも個人有志の懇親会の検討をぜひお願ひしたいと思います。</p>
中島係長	<p>懇親会のイメージとしては施設見学が終わってから同じ施設の会議室の中で茶話会のようなイメージで大丈夫ですか。はい、分かりました。</p>
高味課長 (進行)	<p>本日は以上で閉会とさせていただきます。長時間ありがとうございました。</p>

その他 特記事項	
-------------	--